

まちづくり懇談会内容【公開用】

日 時：令和 2 年 10 月 26 日（月）18：28～20：00

場 所：南学田公民館

出席者：10 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. これからのまちづくり（資料 1 参照）

- ・栗山赤十字病院の改築について

4. 懇談

5. その他（情報提供）

（1）光回線の全面開通について

（2）栗山高等学校と介護福祉学校の状況について

（3）新型コロナウイルス感染症対策について（資料 2 参照）

- ・町民の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料 2－1 参照）

- ・事業者の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料 2－2 参照）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の減免について（資料 2－3 参照）

（4）空き家の情報提供について

6. 閉会

《懇談内容》

【栗山赤十字病院の改築について】

町民：どのような工程で建て替えを行うのか。

町長：栗山赤十字病院の後ろの建物を解体して建設するので、入院患者や外来診療の負担にならないような工程で建設することになる。

町民：建設予定の建物は延べ面積 7200 m²とのことだが、設計図面のようなものはできているのか。

町長：基本計画を令和 4 年までに整備するので、それ以降に具体的な図面などができる。おそらく 12 診療科目の規模であれば 3 階建てになると思う。

町長：診療科目のことで、他の会場で要望が出ている。整形外科の午後診療や、皮膚科の週 1 日の診療をどうにかできないかといった意見もある。すべての要望を実現することは難しいと思

うが、集約して検討していきたいと思う。

町民：今まであった病院ではなく、今まで以上の進んだ考え方を持った新しい病院にすべき。

町長：将来的な視点で考えていく。医師の確保や採算性の問題もある。大きな投資をする病院なので、町民が栗山赤十字病院へ足を向けてもらえるような病院にしていかなければならない。

町民：長沼の病院は送迎してもらえる。田舎は町営バスの体制も整っていないので、そういう部分も考えてほしい。

町長：交通の利便性は大事だと思う。長沼の病院はサービスを含めていろいろ行っている。採算性を含めてどこまでできるかわからないが、町営バスなども見直していく。

町長：栗山赤十字病院は、北海道大学と連携して出張医に来ていただく体制をとっている。診療科目などの充実を考えていくのであれば、医師を増やすことになる。他の町立病院では、医師の確保がすごく大変で問題になっているが、栗山赤十字病院は医師の確保の面では心配が少ない。

町民：今は、遠隔操作で画像を見ながら診療する体制などもある。そういった医療にも対応できる体制をとってはどうか。

町長：これからは、遠隔診療のような体制も考えていかなければならない。検討委員会で議論していく。

町長：建て替え場所は、敷地内から別の場所になると、解体費用が補助対象から外れてしまう。幅広く検討したいので、移転であっても過疎債の対象になるような要望をしていきたいが、なかなか難しい。

町長：現地の建て替えが現実的なのだと思う。移転の場合は、土地の購入なども出てくる。また、今の建物には人工透析病棟があり、その建物を活用できる。国道も近く救急搬送などの利便性もある。いろいろな意見を聞いて検討していきたい。

《質疑応答》

【その他（情報提供）】

町民：日出と合わせて、継立地区の景観が悪い。空き家の解体を早くしてもらえないか。栗山青少年会館の屋根もひどい。使わないなら早く壊したほうがいい。

町長：空き家の撤去などの法整備が進み、解体ができるようになった。ただ、所有者が工事を行うのが本来なので、危険と判断したときには空き家を代執行することもある。いろいろな状況を見て検討していく。

町民：継立中学校跡地の状況はどうなっているのか。

町長：継立中学校は、いろいろな業者から問い合わせも来ているが、なかなか進まない。問題になっているのが、建物と土地が一緒になっていること。土地単価も高い。来年も継続して活用の募集をしていきたい。

町民：阿野呂川の河川整備で、水位が下がり川底に埋まっていた水道管が露出している。何かにつかると破損するおそれもあるので、そういったことが起きているということを伝えておく。対処するかどうかは町の考えもあると思うので、気にかけておいてほしい。

町長：阿野呂川は、今年整備が完了した。現地確認して対応できるものは対応したい。

(上下水道課から質問者へ回答)

現場を確認した結果、2カ所水道管が露出していることを確認しました。

今年度中に、露出している水道管を水流に影響がないよう橋梁に添架する工事を発注したいと考えています。

教育長：青少年会館は、建物内にアスベストがあり、その除去作業を行っている。来年度解体を予定している。

町民：南部耕地出張所の向かいに第3公民館があるが、元の教員住宅になる。今まで公民館として使用していたが今は使っていない。今まで維持管理していたので、ここまで古い建物を維持できていたと思う。解体するのであれば町で行ってほしい。

町長：地域の公民館は、地域の財産になっているもの、町の所有になっているものなどある。今までの経過も含めて確認をしたい。

町民：第3公民館を使っていた頃は、今の3倍くらい人がいた。町で解体できるようにお願いしたい。

町長：この場では即答できないので確認したい。

町民：建物が古いので、解体しないといけないと思っているが、もともと教員住宅なら町の持ち物になるのだから、解体も町にしてほしい。

町長：ここで担当からコロナに関する情報提供がある。

日赤改築室長：11月9日から、発熱外来の診療ができるようになり予約制の受診になる。PCR検査については、検体を採取して検査機関に出すことで可能になる。2日～5日間くらいで結果が分かる。また、抗原検査もでき、1時間程度で結果が出る。11月の広報に詳細を折り込みする。

町長：PCR検査は自己負担で2万円になる。

町民：南学田でまだ砂利道のところがある。町全域で、砂利道はたくさんあると思うが、舗装の要望をお願いしたい。

町長：すべての道路を見て優先順位を決めて行っていきたい。

町民：工業団地の交差点に一時停止の案内標識が必要だと思う。国道沿いの共和の交通安全の看板が倒れたままになっている。早く治すか、撤去したほうがいい。

町長：新しい道路のところは、たしかに標識がないので検討する。標識は、台風で倒れたままになっているので確認したい。

町長：多良津橋の交差点も事故が多いという話を聞いている。全町的に危険箇所を洗い出して、どのようにしたらよいかも含めて考えていきたい。ただ標識をつけるだけではなく、事故防止も含めて警察と協議して考えていく。

20:00 終了